1　国語

学校番号	３００４

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ａ(工学系)	単位数	2	年次	3
使用教科書	現代文Ａ(東京書籍)						
副教材等	キーワードの卵（尚文出版）、常用漢字クリア四訂版						

1 担当者からのメッセージ

・社会人として必要な国語力を身に付けることを心がけましょう。
・教員の問いかけに対して、自由な雰囲気で生徒と教員、生徒同士の話し合いや発表など、アクティブな授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・週１回、ライトパーフェクト演習をテキストにして小テストを行います。しっかり勉強してきてください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 ワークシート 定期考査毎の宿題			記述の確認及び分析 ワークシート 定期考査	行動の観察 記述の確認 ワークシート 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a			d	e		
1学期	自分について語る	【近代以降】 〈自己紹介をしあって、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: 「自己表現のために」(開発教材) ワークシート	○				○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 e:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、e: 行動の観察と確認
	評論の内容を理解するⅠ	【現代文】 教材:梯久美子 『少女たちの「ひろしま」』	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論の内容を理解するⅡ	【現代文】 「揚げ物のこつ」	○			◎	○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	韻文を読む・書く	【現代文】 教材: 吉野弘「I was brn」	○			◎	○	a:韻文中に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:韻文に描かれている情景を思い起こし、異なる立場から読みを深めている。 e:韻文の中にある比喩表現や倒置表現などのレトリックを理解し、それらが韻文の中でどのような効果をもたらすのかを考える。	a:行動の観察 d:記述の確認、朗読テスト及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	本を紹介する	【近代以降】 〈本を紹介しあうことで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材:「ブックトークをしよう」 ワークシート	○				○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、e: 行動の観察と確認
	小説の内容を理解する	【現代文】 教材: 『山月記」 『ナイン』	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認、朗読テスト、小テスト及び定期考査
	文学を創作する	【現代文】 『山月記』に基づいて、李徴の家族に焦点を当てて、その後の物語を構築する 教材: ワークシート、 原稿用紙	○				○	a:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 e:文の組立てや語句の理解ができている。	a、e: 記述の点検と確認及び分析
	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材:内田樹 『身銭を切るコミュニケーション』	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析、小テスト及び定期考査

3学期	随筆を読む	【現代文】 〈現代短歌がそのように作られるのか、随想を読み解き、鑑賞しながら味わう 教材：俵万智「さくらさくらさくら」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e：短歌の歴史、手法、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の確認と分析、朗読テスト、小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　d：読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。